Operation Guide 5000

CASIO

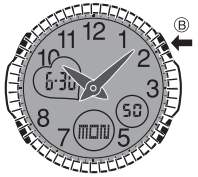
ライト点灯について

暗いときにライトを点灯させて時刻を見ることができます。

すべてのモードの「セット中以外の状態（表示が点滅していない状態）」のときに

Ⓑ ボタンを押します

➡ Ⓑ ボタンを押すと約２秒間ライトが点灯します。



〈ライトご使用時の注意〉

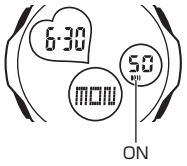
- 直射日光下ではライト点灯が確認しにくくなります。
- ライト点灯中に操作音やアラームなどの電子音が鳴り出すと点灯を中断します。

液晶表示について

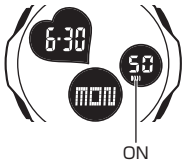
製品によって、液晶表示のタイプが異なります。
なお、記載しているイラストは、視認性を考慮して「白地に黒」で描写しております。ご使用になる製品によっては、記載しているイラストの黒い部分（「時刻」、「機能がONになっているときに点灯するインジケーターやマーク」など）が、「白または他の色で表示される」と置き換えてご覧ください。

※液晶表示のタイプは製品によって決まっているため、1つの製品でタイプを切り替えることはできません。

<Aタイプ>



<Bタイプ>



各種設定の切替えについて

本機では、以下の項目の設定を切り替えることができます。設定の切替えは、エディットモードで行ないます（「各種設定の切替えのしかた（エディットモード）」参照）。

- ボタンを押したときの「操作音」：鳴らす／鳴らさない
- アラーム音のパターン：3種類
- 時刻表示：12時間制／24時間制

<12時間制>



<24時間制>



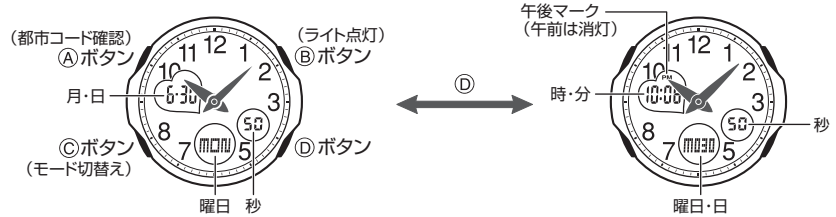
- 時刻モードとワールドタイムモードの時刻表示で、00秒になったときに「時」または「分」の部分に表示する時分桁アニメ：行なう／行なわない
- アナログ部（針）の時刻修正（H.SET）：
  アナログ部（針）の時刻とデジタル部の時刻が合っていないときに行ないます
  （「アナログ部（針）の修正」参照）

操作のしくみと表示の見方

※ 表示例では、一部を除き、アナログ部（針）を省略しております。

Ⓒ ボタンを押すごとに、以下の順でモードが切り替わります。
※アラームモード、エディットモードで２～３分間何も操作を行なわないと、自動的に時刻モードになります。

時刻モード



★表示切替えについて
Ⓓ ボタンを押すごとに表示内容が切り替わります。

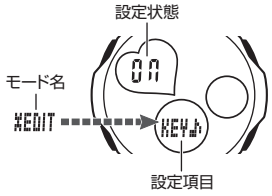
★ホームタイム都市設定の確認
Ⓐ ボタンを押すと、「曜日」または「曜日・日」が「都市コード」に切り替わった後、約1秒で元の項目に戻ります。



★曜日の見方
SUN／SU：日　MON／MO：月　TUE／TU：火
WED／WE：水　THU／TH：木　FRI／FR：金
SAT／SA：土

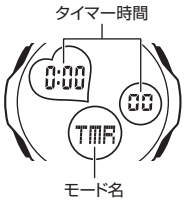
Ⓒ

エディットモード（設定変更）



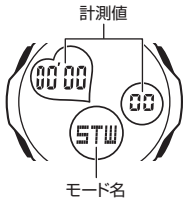
Ⓒ

タイマーモード



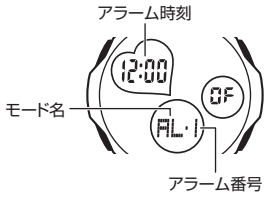
Ⓒ

ストップウオッチモード



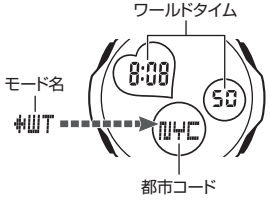
Ⓒ

アラームモード



Ⓒ

ワールドタイムモード



Ⓒ

時刻モード

ワールドタイムの使い方

「操作のしくみと表示の見方」にしたがい Ⓒ ボタンを押し、ワールドタイムモードにします。

ワールドタイムモードでは、世界48都市（29タイムゾーン）の時刻を知ることができます。

※ワールドタイムモードに切り替えると、前回このモードで最後に見た都市の時刻を表示します。
※ワールドタイムの「秒」は基本時刻の「秒」に連動しています。
※ 12/24 時間制は、エディットモードの時刻表示設定の設定状態で表示されます。

ご注意
ワールドタイムが合っていないときは、時刻モードの時刻およびホームタイム都市設定を確認し、違っているときは正しくセットしてください。

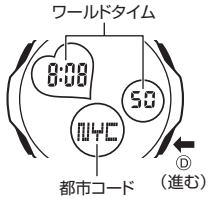
* 確認については「操作のしくみと表示の見方」参照、セットについては「時刻・カレンダー合わせ」参照。

■都市のサーチ

ワールドタイムモードのとき

Ⓓ ボタンを押します

➡Ⓓ ボタンを押すごとに都市コードが進みます。
※Ⓓ ボタンを押し続けると早送りします。



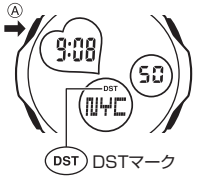
■サマータイム（DST）について

サマータイムとはDST（Daylight Saving Time）とも言い、通常の時刻から1時間進める夏時間制度のことです。サマータイムの採用時期は国や地域により異なりますし、採用していないところもありますのでご注意ください。

■サマータイムのON／OFF設定

準備：ワールドタイムモードのとき、Ⓓ ボタンを押して、設定したい都市を選びます。

Ⓐ ボタンを約 1 秒間押し続けます



➡サマータイムのON／OFFが切り替わります。
※サマータイムがONのときは、DSTマークが点灯して、通常の時刻より1時間進みます。
※各都市ごとにサマータイムを設定することができます。ただし、ホームタイム（時刻モード）で設定している都市に、サマータイムを設定することはできません。

■都市コード一覧

コード	時差	都市名	コード	時差	都市名
PPG	−11	パゴパゴ	IST	+2	イスタンブール
HNL	−10	ホノルル	CAI	+2	カイロ
ANC	−9	アンカレジ	JRS	+2	エルサレム
YVR	−8	バンクーバー	MOW	+3	モスクワ
SFO	−8	サンフランシスコ	JED	+3	ジェッダ
LAX	−8	ロサンゼルス	THR	+3.5	テヘラン
DEN	−7	デンバー	DXB	+4	ドバイ
MEX	−6	メキシコシティ	KBL	+4.5	カブール
CHI	−6	シカゴ	KHI	+5	カラチ
MIA	−5	マイアミ	MLE	+5	マーレ
NYC	−5	ニューヨーク	DEL	+5.5	デリー
CCS	−4	カラカス	DAC	+6	ダッカ
YYT	−3.5	セントジョンズ	RGN	+6.5	ヤンゴン
RIO	−3	リオデジャネイロ	BKK	+7	バンコク
RAI	−1	プライア	SIN	+8	シンガポール
LIS	+0	リスボン	HKG	+8	香港
LON	+0	ロンドン	BJS	+8	北京
BCN	+1	バルセロナ	SEL	+9	ソウル
PAR	+1	パリ	TYO	+9	東京
MIL	+1	ミラノ	ADL	+9.5	アデレード
ROM	+1	ローマ	GUM	+10	グアム
BER	+1	ベルリン	SYD	+10	シドニー
ATH	+2	アテネ	NOU	+11	ヌーメア
JNB	+2	ヨハネスブルグ	WLG	+12	ウェリントン

※この表は 2006 年 12 月現在作成のものです。
※この表の時差は協定世界時(UTC)を基準としたものです。

ストップウオッチの使い方

「操作のしくみと表示の見方」にしたがい Ⓒ ボタンを押し、ストップウオッチモードにします。

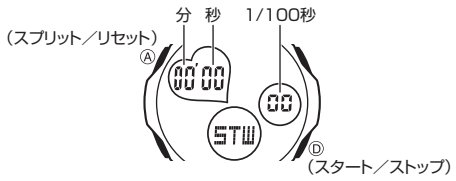
ストップウオッチは1/100秒単位で59分59秒99（60分計）まで計測できます。計測範囲を超えると、自動的に0に戻って計測し続けます。

■計測のしかた

ストップウオッチモードのとき

Ⓓ ボタンを押します

➡Ⓓボタンを押すごとに、計測がスタート／ストップします。



★計測中にⒶボタンを押すと、表示は止まりますが、内部では計測を続ける**スプリット計測**となります（"SPLIT" 表示）。
※スプリット計測中にモードを切り替えると、スプリットは解除されます。
★計測終了後Ⓐボタンを押すと、計測値が0に戻ります（リセット）。

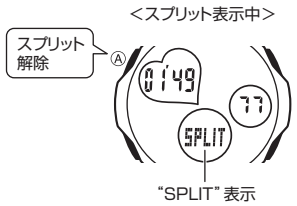
●通常計測

Ⓓ → Ⓓ → Ⓐ
スタート　ストップ　リセット

＜積算計測＞
ロスタイムのあるときは、ストップ後リセットせずにⒹボタンを押して再スタートすれば、表示タイムに引き続き計測を始めます。

●スプリットタイム（途中経過時間）の計測

Ⓓ → Ⓐ → Ⓐ → Ⓓ → Ⓐ
スタート　スプリット　スプリット解除　ストップ　リセット



●1・2着同時計測

Ⓓ → Ⓐ → Ⓓ → Ⓐ → Ⓐ
スタート　1着ゴール（1着タイム表示）　2着ゴール　2着タイム表示　リセット

アラーム・時報の使い方

「操作のしくみと表示の見方」にしたがいⓒボタンを押し、アラームモードにします。

時分を設定できるアラームが5本あり、設定した時刻になると10秒間電子音が鳴ります。
また、毎正時（00分）に時報を鳴らすこともできます。

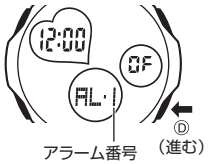
■アラーム時刻のセット

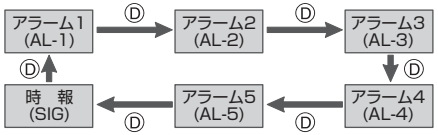
1. アラームを選ぶ

アラームモードのとき

Ⓓボタンを押します

➡Ⓓボタンを押すごとに表示が以下の順で切り替わります。セットしたいアラームを選びます。





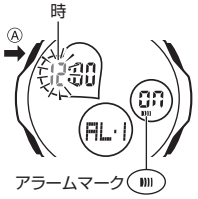
2. セット状態にする

Ⓐボタンを約1秒間押し続けます

➡「時」が点滅します。

※セット状態で2～3分間何も操作を行なわないと、自動的にセット状態が解除されます。

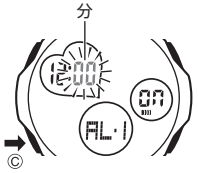
※アラームマークが点灯して、自動的にアラームONになります。



3. セット箇所を選ぶ

Ⓒボタンを押します

➡Ⓒボタンを押すごとに点滅箇所が「時」と「分」で移動します。セットしたい箇所を点滅させます。

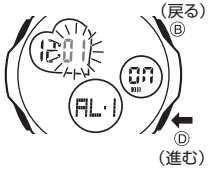


4. 点滅箇所のセット

ⒹまたはⒷボタンを押します

➡Ⓓボタンを押すごとに1つずつ進み、Ⓑボタンを押すごとに戻ります。

※Ⓓ・Ⓑボタンとも、押し続けると早送りします。



手順3.～4.の操作を繰り返して、アラーム時刻をセットします。

※「時」のセットのとき午前／午後（PM）、または24時間制にご注意ください。

※12/24時間制は、エディットモードの時刻表示設定の設定状態で表示されます。

5. セットを終わる

Ⓐボタンを押します

➡点滅が止まり、セット完了です。

■アラームのON／OFF設定

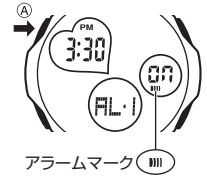
準備：アラームモードのとき、Ⓓボタンを押して、設定したいアラームを選びます。

Ⓐボタンを押します

➡Ⓐボタンを押すごとに、アラームのON／OFFが切り替わります。

※ONに設定すると、アラームが鳴るように設定され、アラームマークが点灯します。
なお、アラームマークは、すべてのアラームが解除される（アラームが鳴る／OF（OFF）に設定する）まで他のモードに切り替えても点灯したままになり、いずれかのアラームが鳴る設定になっていることを表わします。

<アラーム1表示>



■鳴っている電子音を止めるには

いずれかのボタンを押すと、音が止まります。

■モニターアラーム

アラームモードでⒹボタンを押し続けると、押している間、エディットモードで設定しているアラーム音のパターンで電子音が鳴ります。

■時報について

毎正時（00分のとき）に“ピッピッ”と電子音を鳴らすことができます。

■時報のON／OFF設定

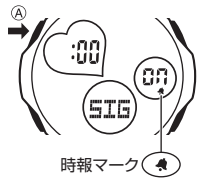
準備：アラームモードのとき、Ⓓボタンを押して、時報表示を選びます。

Ⓐボタンを押します

➡Ⓐボタンを押すごとに、時報のON／OFFが切り替わります。

※ONに設定すると、時報が鳴るように設定され、時報マークが点灯します。
なお、時報マークは、OF（OFF）に設定するまで他のモードに切り替えても点灯したままになり、時報が鳴る設定になっていることを表わします。

<時報表示>



タイマーの使い方

「操作のしくみと表示の見方」にしたがいⓒ ボタンを押し、タイマーモードにします。

タイマーは１分単位で24時間までセットできます。セットした時間を経過（タイムアップ）すると、10秒間電子音が鳴ります。
また、タイムアップ後も自動的に計測を繰り返すオートリピートタイマーとしても使えます。

■ タイマー方法について

以下の２種類があり、使い方に合わせて選ぶことができます。

* タイマー方法の選び方については、右記の「タイマー時間・タイマー方法のセット」参照。

●リピートタイマー（繰り返し計測）

タイムアップすると、タイマー時間を表示して、計測が止まります。同じ時間を何回も計測するときに便利です。

●オートリピートタイマー(自動繰り返し計測)

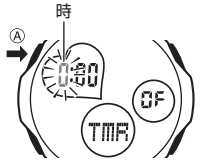
タイムアップしても、計測ストップするまで自動的にタイマー時間に戻って、繰り返し計測を行ないます。

■ タイマー時間・タイマー方法のセット

1. セット状態にする

タイマーモード（計測リセット状態）のとき

Ⓐ ボタンを約１秒間押し続けます

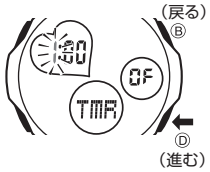


➡「時」が点滅します。

※ セット状態で2～3分間何も操作を行なわないと、自動的にセット状態が解除されます。

2. 「時」をセットする

Ⓓ または Ⓑ ボタンを押します



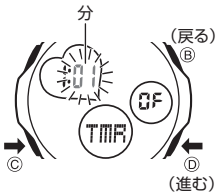
➡ Ⓓ ボタンを押すごとに１つずつ進み、Ⓑ ボタンを押すごとに戻ります。

※ Ⓓ・Ⓑ ボタンとも、押し続けると早送りします。

※ タイマー時間を24時間に設定するときは、表示を“0：00”にします。

3. 「分」をセットする

Ⓒ ボタンを押してから、Ⓓ または Ⓑ ボタンを押します

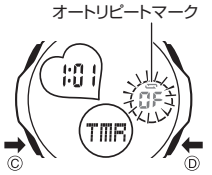


➡ Ⓓ ボタンを押すごとに１つずつ進み、Ⓑ ボタンを押すごとに戻ります。

※ Ⓓ・Ⓑ ボタンとも、押し続けると早送りします。

4. タイマー方法を選ぶ

Ⓒ ボタンを押してから、Ⓓ ボタンを押します



➡ Ⓓ ボタンを押すごとにリピートタイマーとオートリピートタイマーが切り替わります。

OF：リピートタイマー
on：オートリピートタイマー

5. セットを終わる

Ⓐ ボタンを押します



➡ 点滅が止まり、セット完了です。

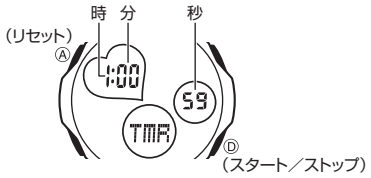
■ タイマーの使い方(減算計測のしかた)

タイマーモードのとき

Ⓓ ボタンを押します

➡ Ⓓボタンを押すごとに計測がスタート／ストップします。

※計測は１秒単位で行ないます。



★計測ストップ後 Ⓐ ボタンを押すと、タイマー時間の表示に戻ります（リセット）。

★ロスタイムがあるときは、Ⓓ ボタンでストップ後、もう一度 Ⓓ ボタンを押すと表示タイムに引き続き計測を始めます。

■ タイムアップになると

セットした時間を経過すると、10秒間電子音が鳴り、タイムアップを知らせます。

■ 鳴っている電子音を止めるには

いずれかのボタンを押すと音が止まります。

各種設定の切替えのしかた（エディットモード）

「操作のしくみと表示の見方」にしたがいⓒボタンを押し、エディットモードにします。

エディットモードでは、以下の項目の設定を切り替えることができます。

- ●ボタンを押したときの「操作音」：鳴らす／鳴らさない
- ●アラーム音のパターン：３種類
- ●時刻表示：12時間制／24時間制
- ●時刻モードとワールドタイムモードの時刻表示で、00秒になったときに「時」または「分」の部分に表示する時分桁アニメ：行なう／行なわない
  ※時刻モードで時刻表示に切り替える操作方法は、「操作のしくみと表示の見方」をご覧ください。
- ●アナログ部（針）の時刻修正（H.SET）：
  アナログ部（針）の時刻とデジタル部の時刻が合っていないときに行ないます
  （「アナログ部（針）の修正」参照）

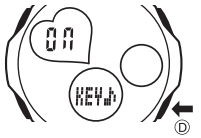
■切替えのしかた

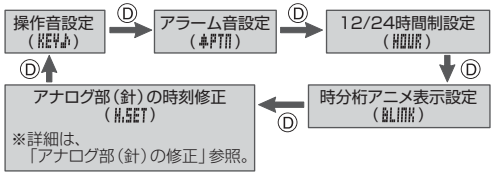
1. 設定を切り替えたい項目を選ぶ

エディットモードのとき

Ⓓ ボタンを押します

➡Ⓓ ボタンを押すごとに、以下の順で項目が切り替わります。切り替えたい項目を表示させます。





2. 設定を切り替える

Ⓐ ボタンを押します

➡Ⓐ ボタンを押して設定を切り替えます。

a.「操作音設定」のときは…

Ⓐ ボタンを押すごとに、操作音のon（鳴る）／OF（OFF：鳴らない）が切り替わります。



b.「アラーム音パターン設定」のときは…

Ⓐ ボタンを押すごとに、アラーム音のパターンが切り替わります。A、B、C の３つのパターンから選ぶことができます。

※実際のアラーム音の鳴り方を確認するときは、ⓒ ボタンを押してアラームモードにし、「モニターアラーム」の操作を行なってください。



c.「12/24 時間制設定」のときは…

Ⓐ ボタンを押すごとに12時間制表示“12H”と24時間制表示“24H”が切り替わります。



d.「時分桁アニメ表示設定」のときは…

Ⓐ ボタンを押すごとに、時分桁アニメのon（行なう）／OF（OFF：行なわない）が切り替わります。



※時分桁アニメ：時刻モードとワールドタイムモードの時刻表示で、00秒になったときに「時」または「分」の部分に表示するアニメ

※時刻モードで時刻表示に切り替える操作方法は、「操作のしくみと表示の見方」をご覧ください。

e.「アナログ部（針）の時刻修正（H.SET）」のときは…

※詳細は、「アナログ部（針）の修正」参照。

■項目を初期設定にリセットする

《初期設定》
操作音設定：on（鳴る）
アラーム音パターン設定：A
12/24 時間制設定：12H
時分桁アニメ表示設定：on（行なう）

※「アナログ部（針）の時刻修正（H.SET）」は、現在の状態を保持します。

エディットモードのとき

Ⓑ ボタンと Ⓓ ボタンを同時に、約３秒間確認音が鳴るまで押し続けます。

➡“R RST”と点滅表示し、初期設定にリセットされると、この操作を始めた項目の表示になります。



時刻・カレンダーの合わせ方

以下の操作は時刻モードで行ないます。

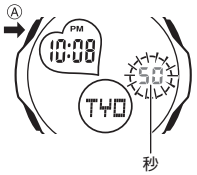
電池交換後などで、時刻やカレンダーが合っていないときは、以下の方法でセットします。

■「秒」合わせ

1. セット状態にする

時刻モードのとき

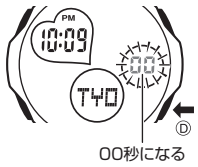
Ⓐボタンを約1秒間押し続けます



➡「秒」が点滅します。

※ セット状態で2～3分間何も操作を行なわないと、自動的にセット状態が解除されます。

2. **時報に合わせてⒹボタンを押します**



➡「00秒」からスタートします。

※ 秒が00～29のときは切り捨てられ、30～59のときは1分繰り上がって「00秒」になります（時報は「時報サービス117番」が便利です）。

3. セットを終わる

Ⓐボタンを押します

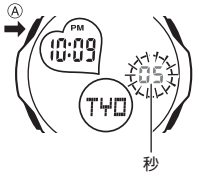
➡点滅が止まり、セット完了です。

■「時刻・カレンダー」合わせ

1. セット状態にする

時刻モードのとき

Ⓐボタンを約1秒間押し続けます



➡「秒」が点滅します。

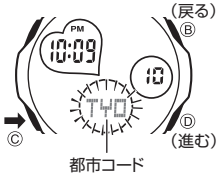
※ セット状態で2～3分間何も操作を行なわないと、自動的にセット状態が解除されます。

2. ホームタイム都市を選ぶ

Ⓒボタンを押します

➡都市コードが点滅します。

ⒹまたはⒷボタンを押します



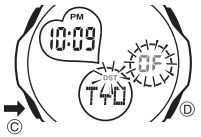
➡Ⓓボタンを押すごとに都市コードが進み、Ⓑボタンを押すごとに戻ります（「都市コード一覧」参照）。

※ Ⓓ・Ⓑボタンとも、押し続けると早送りします。

例）
東京（日本）の時刻に合わせるときは、都市コードを“TYO”に設定します。

3. サマータイム（DST）のON／OFFを選ぶ

Ⓒボタンを押します



➡DSTマークとonまたはOFが点滅します。

Ⓓボタンを押します

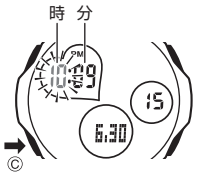
➡ON／OFFが切り替わります。

※ OF＝サマータイムOFF（通常時間）
on＝サマータイムON（夏時間）

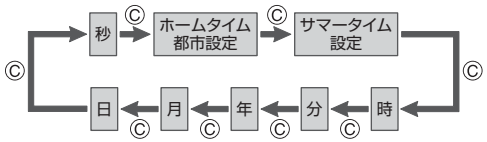
※ サマータイムをONにすると、通常の時刻より1時間早まり、時刻モードとアラームモードでDSTマークが点灯します（サマータイムについては「サマータイム（DST）について」参照）。

4. 「時刻・カレンダー」合わせ

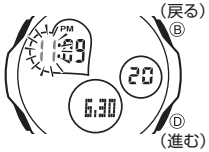
a. **Ⓒボタンを押します**



➡Ⓒボタンを押すごとに点滅箇所が以下の順で移動しますので、合わせたい箇所を点滅させます。



b. **ⒹまたはⒷボタンを押します**



➡Ⓓボタンを押すごとに点滅箇所の数字が進み、Ⓑボタンを押すごとに戻ります。

※ Ⓓ・Ⓑボタンとも、押し続けると早送りします。

a.～b.の操作を繰り返して、時刻・カレンダーを合わせます。

※「時」のセットのとき、午前／午後（PM）、または24時間制にご注意ください。

※「年」は2000～2099年の範囲内でセットできます。正しくセットすると、自動的に曜日が算出されます。なお、カレンダーはうるう年および大の月、小の月を自動判別するフルオートカレンダーですので、電池交換時以外の修正は不要です。

※12/24時間制は、エディットモードの時刻表示設定の設定状態で表示されます。

※「日」は、一桁（1～9）の場合、01～09と表示されます。

5. セットを終わる

Ⓐボタンを押します

➡点滅が止まり、セット完了です。

■アナログ部（針）の修正

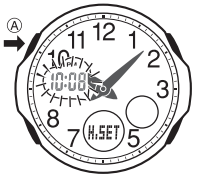
アナログ部の時刻とデジタル部の時刻が合っていないときに行ないます。

1. **「操作のしくみと表示の見方」にしたがいⒸボタンを押し、エディットモードにする**

2. **Ⓓボタンを押して、「H.SET：アナログ部（針）の時刻修正」を表示させる**

3. セット状態にする

Ⓐボタンを約1秒間押し続けます

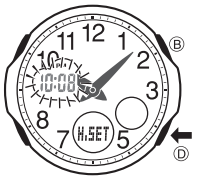


➡「時・分」が点滅します。

※ セット状態で2～3分間何も操作を行なわないと、自動的にセット状態が解除されます。

4. アナログ部を合わせる

Ⓓボタンを押します



➡Ⓓボタンを押すごとに時計回りに1/3分（20秒）ずつ進みますので、デジタル部の「時・分」丁度にアナログ針を合わせます。

※ 押し続けると早送りします。

＜針の自動早送り＞

●Ⓓボタンを押し続けて早送り中にⒷボタンを押すと、ボタンを離しても針が進み続けます。

●自動早送りは時針が一回りする（12時間分進む）か、いずれかのボタンを押すと止まります。

5. セットを終わる

Ⓐボタンを押します

➡点滅が止まり、分針はそのときの「秒」に合わせて自動的に修正されます。

※ Ⓒボタンを押して、使いたいモードに切り替えてください。